良元コミュニティ

まちづくり計画書

平成17年7月

家
宝まち
平17.8.-5
まちづくり推進課
受付
第44号

良元コミュニティまちづくりプラン

☆　世代を越えてつくろう　住み良いまち「良元」

☆　人に優しく　自然に優しいまち「良元」

☆　地域でふれあう　いつも笑顔のあるまちに

☆　みんなでつくろう　安心のまち「りょうげん」

１．はじめに

まちづくりプラン策定委員会設立の経緯

（１）良元コミュニティの概況

良元コミュニティは市の南西部に位置し、住宅商業地域で面積、人口、年齢構成、地勢、環境は次の通りです。

・面積は８６．７ｈａ．（全市の０．９％）

・人口は１０，０４９人（４．６％）

・世帯数は４，３１６世帯（５．０％）

人口構成は下表の通りです。

年少人口（０～１４）	１，３３８人	１３．３％
生産年齢人口（１５～６４）	６，９５５人	６９．２％
老年人口（６５～）	１，７５６人	１７．５％
合　　計	１０，０４９人	１００．０％

（２）良元コミュニティの課題

・総合的課題

当地区は前項の通り面積に比して人口が多く、商業住宅地域です。

阪急「小林駅」を中心に発展してきた経緯の中で、駅前環境の面整備が遅れ狭隘な道路や駐車スペースの欠如、等地域発展のためには先ず駅前の整備を望む声が多いことを念頭におく必要があります。

この課題は地域のみでは解決できない側面があることも承知しており今後長期に亘る取り組みが望まれます。

この他、旧県道、宝塚中野線、宝塚池田線では今後の整備計画と交通安全・ユニバーサルデザインの検討など、私達の日常生活に深い係わりのある問題に取り組む姿勢も必要になっています。

中野町、小林１丁目、谷口町などに緊急自動車の通行できない道路も数多くみうけられますが、これらも今後の課題になると思われます。

景観・環境についていえば田園地域であったかつての面影は住宅開発とともに減少し、僅かに残った田圃、畑と阪急今津線西側にひろがる聖心女子学院の学校林によって今津線沿線で唯一の緑深い環境が保たれています。これ以上緑地が減少しないようなてだても考えておかなければならないでしょう。

・安全についての課題

良元コミュニティ内の道路事情には、様々な問題をかかえています。

地域住民が最も利用する阪急「小林」駅周辺の道路は狭隘で、車の利用が難しい状況であります。また駅前駐輪場があっても利用しない住民（必ずしも地域住民だけではありません）も多く、交通混雑の原因

の一つにもなっています。定期的に不法駐輪の撤去を実施していますが、現状では「イタチゴッコ」の感があり自転車利用者のモラル向上を気長に呼びかけながら減少させていかなければならないと考えます。旧県道の歩道は狭い上に段差や傾斜が多く、高齢者や子どもの利用には適していません。高齢者の多くはやむを得ず車道を利用しており、ただでさえ狭い車道の通行を一層不便にしています。

宝塚中野線は商店街でもありますが、片側にある歩道も狭く、旧県道以上に段差や傾斜が強く、人がすれちがえない現状です。歩道と車道にある電柱が通行の妨げになっています。これらの問題を解決する計画を検討する過程で既存のプロジェクトがあり、まちづくり計画とのとの間にギャップが生じ、「まちづくりプラン策定委員会」の進行にブレーキとなりました。(約４ヶ月がこの問題のために遅れを生じました。)

宝塚池田線は現状で工事が停止しており、荒地西山線の工事凍結との関係からも、道路予定地の取り扱いに課題が残っています。

・防犯についての課題

地域内の犯罪発生件数は減少していますが、今後「防犯パトロール組織」の各自治会での取り組みをも含めて検討してゆく必要があります。又、小林交番と各自治会、良元コミュニティとの情報交換などを通じて連携を密にしてゆく必要があります。

・福祉についての課題

良元コミュニティ住民の年齢構成は前述のように、老年人口の比率と年少者人口の比率があまり乖離していません。とかく高齢者福祉に偏りがちな配慮とともに児童福祉にも考慮する必要があるでしょう。その他種々の障害のある方への気配りで地域の人たちが皆でふれあえるまちづくりを目指してゆくことも重要な課題といえます。

・健康についての課題

私達がいつも健康であるために「スポーツクラブ２１」を立ち上げ、良元小学校を拠点に「健康づくり」を地域住民全員で取り組み、高齢者・生徒児童一体になったまちづくりを目指す必要があります。

「良元まつり」・「ふれあい運動会」・「ハイキング」などを計画して地域住民が気軽に参加しながら、心身の健康づくりを目指します。

・景観保全についての課題

良元コミュニティの景観の特徴は、阪急今津線沿線で唯一駅周辺に緑が多い点です。これは前述しましたが手入れの行き届いた聖心女子学院の学校林があるからです。良元コミュニティを東側から見ると、近景に学校林・遠景に六甲山系と緑豊かな地域だと錯覚しがちです。

実際には地域の田畑は減少しつづけ、街区公園も大小９ヶ所だけです。

街区公園の実態調査で指摘された整備と植栽の実施によって、地域住民の利用しやすい空間を作っていくことも大切でしょう。

・環境美化についての課題

良元コミュニティの生活環境は前項の景観保全と密接な関係があります。全体的に見れば緑が多いのですが、道路沿線はゴミの不法投棄があり、街区公園はペットの糞尿が多く決して清潔とは言いがたい状況になっています。これはペットの飼い主のモラル向上に待つしかありませんが、時間をかけて解決してゆく必要があるでしょう。

良元コミュニティの顔としての「小林駅前花壇」のボランティアによる更なる整備を進めると同時に道路沿線の花壇を少しづつでも計画し整備してゆくようにすることにより、地域住民による周辺の環境美化の考え方が定着してくるでしょう。

2．策定委員会概要

（1）委員名簿

委員長　　岩田　貞雄（小林自治会長）

副委員長　大景　孝一（良元コミュニティ）…安全防犯小委員会委員長

副委員長　榎谷　正継（小林商店会会長）

委員　　阪本　信夫（良元コミュニティ）

委員　　松本　昇　（中野町双葉自治会会長）

委員　　内田　富子（良元コミュニティ）

委員　　寺川　輝邦（みどり会）

委員　　安藤　敏昭（小林商栄会会長）

委員　　島崎　　（谷口町自治会会長）

委員　　松本　純一（良元コミュニティ）…福祉健康小委員会委員長

委員　　谷口　道子（良元コミュニティ）

委員　　岸本　義雄（良元コミュニティ）

委員　　稲田　淑子（良元コミュニティ）

委員　　仁藤　憲征（良元コミュニティ）…景観環境小委員会委員長

委員　　板橋　志津子（良元コミュニティ）

委員　　足集利　陽子（良元コミュニティ）

委員　　白津　朋子（良元コミュニティ）

（２）委員会経過概要

（ａ）第１回委員会…３月１７日

・第４次宝塚市総合計画…まちづくり推進課

・他地区の「まちづくり計画」について…まちづくり推進課

・「良元コミュニティまちづくり計画」について…事務局

・各団体の直面している課題

（ｂ）第２回委員会…４月２日

・良元コミュニティの現状と課題…事務局

・タウンウォッチング…４班に分かれてのウォッチング

（ｃ）第３回委員会…４月１６日

・タウンウォッチングまとめ…事務局

・問題提起…防犯灯、道路標識、カーブミラー、中野線のバリアフリー、ペットの飼い方ｅｔｃについて問題提起がありました。

（ｄ）第４回委員会…５月７日

・「ふれあいトーク」安全な良元地区にするために

宝塚市交通安全課・まちづくり推進課

街路灯、放置自転車、交通安全（横断歩道、信号機、スクールゾーンｅｔｃ）

（ｅ）第５回委員会…５月２２日

・「ふれあいトーク」道路計画と今後の見通し

宝塚市道路整備課・宝塚市道路建設課、まちづくり推進課

市全域の道路整備について、南部道路の建設について（荒地西山線、中野線、宝塚池田線）

・小委員会の設置とメンバーの設定

具体的な課題の検討と効率的な進行のため今後３小委員会に分かれて「まちづくりプラン」の策定にあたることになりました。

安全・防犯小委員会、福祉・健康小委員会、景観・環境小委員会

（ｆ）第６回委員会…６月２２日

・小委員会の報告…各小委員会の進捗状況説明と質疑

・全体の大きな課題への対応…小林駅前の面整備、道路問題ｅｔｃ

（ｇ）第７回委員会…７月３０日

・小委員会報告…各小委員会の進捗状況説明と質疑

・中野線の整備について良元コミュニティとは別の既存組織があり、市当局も現在既存組織を窓口にして対策を検討中であることが判明しました。次回は「まちづくり推進課」との意見交換の中で確認することになりました。…結果的にこの問題の対応に時間と労力をとられたため、「まちづくりプラン」の策定の進捗に支障がでたことは事実として認識しておくことも必要でしょう。（地域住民相互に感情的なしこりを残さないためにも。）

・「良元コミュニティまちづくりプラン」のキャッチコピーを作成することになり、各小委員会で検討することになりました。

（ｈ）第８回委員会…９月１４日

・「まちづくり推進課」との意見交換

小林商店街の道路整備について（既存の組織が推進していた事実）

この他に現在検討している良元コミュニティまちづくり計画に係わる既存の組織が存在するのか、その場合のプライオリティーをどのように考えればよいか、等市役所内での問題解決手順について鋭い指摘がありました。

（ｉ）第９回委員会…１０月９日

・小委員会報告…各小委員会の経過説明と質疑

（ｊ）第１０回委員会…１１月１７日

・小委員会報告…各小委員会の経過報告と質疑

・キャッチコピーの決定

・「まちづくりプラン」ラフスケッチの作成

ラフスケッチをもとに、「まちづくりプラン」を策定してゆきます。

（3）小委員会経過概要

・安全・防犯小委員会

・福祉・健康小委員会

・景観・環境小委員会

（ア）委員

委員長　仁藤　憲征

委　員　板橋　志津子

委　員　松本　貴代美

委　員　山田　律子

委　員　福田　香代

委　員　藤高　一七

委　員　足集利　陽子

（イ）ボランティア募集

・ボランティア募集ポスターの作成と掲示による募集活動

（ウ）花づくり講習会…６月１９日

・講　師　県立淡路景観園芸学校　森田年則先生

・演　題　「まちづくりと花づくり」

・実　習　１０種類の種子による花苗づくり

・参加者　３５人（良元コミュニティ住民）

（a）第１回小委員会…５月２４日

・「まちづくりプラン」について

・小委員会の進め方について

（b）第２回小委員会…６月５日

・小林駅前花壇の夏苗植栽

・ハンギングバスケットの植栽

（c）第３回小委員会…７月１３日

・街区公園のチェックシート作成

・街区公園ウォッチングの実施（５ヶ所）

谷口公園、谷口第２公園、大成第２公園、中野公園、中野第２公園

（d）第４回小委員会…７月２０日

・街区公園ウォッチングの実施（４ヶ所）

小林公園、小林５丁目公園、小林３丁目桜公園、小林４丁目梅公園

（e）第５回小委員会…７月２７日

・街区公園ウォッチングの結果集約・まとめ

・「まちづくりプラン」ラフスケッチについて

（f）第６回小委員会…８月３１日

・コミュニティ花壇の管理について

・コミュニティ花壇（春苗）のデザインについて

・花壇用花苗にづくり（葉牡丹）

（ｇ）第７回小委員会…９月２８日

・花苗ポット上げ

・春苗の購入について（チューリップ）

・コミュニティ花壇の植栽について

・コミュニティ花壇のデザインについて

（ｈ）第８回小委員会…１０月２９日

・「花ランドまつり」準備について

・「まちづくりプラン」ラフスケッチ打ち合わせ

・花壇植栽デザインについて

（ｉ）第９回小委員会…１２月３日

・チューリップ春化処理について

・駅前花壇のデザインについて

・駅前花壇の植栽実施

（ｊ）第１０回小委員会…１２月１４日

・「まちづくりプラン」ラフスケッチについて

・ボランティア募集について

・チューリップの植栽（ダブルデッカー仕立て）

（k）第１１回小委員会…１月１８日

・「まちづくりプラン」について

（l）第１２回小委員会…２月２５日

・「エコ石鹸づくり」講習会

・「まちづくりプラン」の確認

（m）第１３回小委員会…３月２８日

・「寄せ植え」講習会

３．まちづくりプラン

（１）基本目標・方針

前述の４つの「キャッチコピー」をベースに、世代を越えた住み良い良元コミュニティにするために、地域住民・行政がそれぞれの役割分担の中で、プライオリティーを決めながらひとつづつ問題・課題を解決してゆく過程を定めました。そのために課題を短期・中期・長期に分けて分類し取り組んでゆくように考えました。

なお課題解決にあたっては、課題毎に分類して自治会レベルで解決できる課題は各自治会が対応することとして、今回のプランには組み込まないことにしました。

（２）活動計画一覧

・各小委員会毎にタイムスケジュールを付けて（別添計画参照）

・安全・防犯小委員会

・福祉・健康小委員会

・景観・環境小委員会

（3）計画の推進方法

・推進主体を明記（別紙計画参照）

4．まとめ

策定委員会で作成した計画を２回（６月２０日小林会館、６月２５日くらんど人権文化センター）に分けて公聴会を開催して、地域住民の方への周知を図りました。

5．参考資料

（1）全体

・タウンウォッチング結果集約

・「まちづくりプラン策定委員会」議事録

・「まちづくりプラン」公聴会議事録

（2）安全・防犯小委員会

（3）福祉・健康小委員会

（4）景観・環境小委員会

・景観・環境「まちづくりプラン」

・小林駅前花壇整備フォーマット

・街区公園チェックシート

・街区公園ウォッチング結果集約

・良元コミュニティ内の圃場面積

・景観・環境小委員会議事録

以　上

小林駅周辺地域〔商業地区及びその付近〕の安全対策　そのⅠ　　安全防犯小委員会　平成17年6月10日

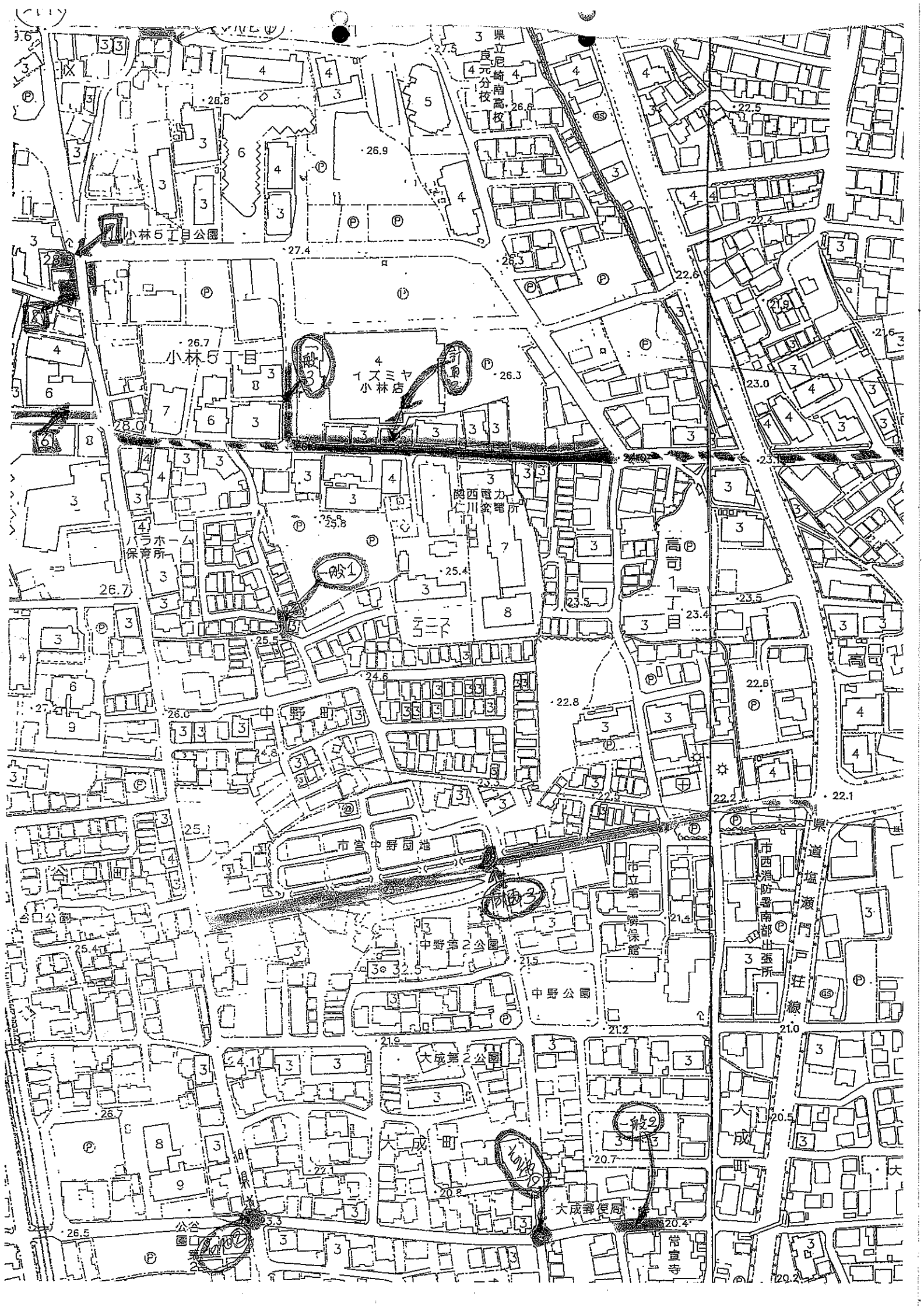
●住民主体　■住民と行政の協力　▲行政主体〔要望〕

	課　題	主体	短　期	主体	中　期	主体	長　期
小林駅前周辺	不法駐輪の常態化を解消する	▲ ■	不法駐輪車の撤去作業を徹底する 駐輪マナー向上運動の展開	▲	駐輪場の拡張と罰則の強化	▲	撤去自転車の収容能力を拡充する
	車イスが通れる歩道を駅前にも確保する	■	駅前道路拡幅に関する世論作り 〔車イスが通れる歩道を駅前にも〕	▲	駅前道路の拡幅計画 〔立退き含み〕の設計	▲	道路拡幅に必要な用地確保 〔買収または提供〕へ
	駅前ひろばの確保 〔バス・タクシーのりばの誘致〕					▲ ▲	フラワーガーデン作業所のスペースを含めたロータリー構内の整備 阪急小林駅に北出入口〔改札口〕を新設して、ロータリーと接続する
旧県道〔商業地区関係〕	①対向車とすれ違い時、道路に余裕がない。〔渋滞発生〕	▲	道路上に「タマリ」を設けて対向車をかわす。				
	②走行中の車輌が歩道へ乗り上げて危険、また乗り上げ駐車みかける	▲	ガードレール等で区分できないか				
	③歩道が波打ち状態で歩行者が車道を歩く。〔高齢者に多い〕	▲	車イスが通れる程度に歩道を改修。				
	④車輌が安全速度を守っていない	▲	スピード制限の表示「よく見える」ように位置・高さなど改善が必要				
	⑤水たまりのハネ水が、歩行中の児童にかかり衣服を濡らしている	▲	排水口の整備とメンテナンスの励行が必要。				
	⑥違法駐車の常態化 〔禁止マークの前に常駐〕	▲	〔旧〕太陽スーパーの北側がひどい取締りの徹底ができないか。	▲	現違法駐車地を歩道として整備 〔乗り上げ不可能型の区分棚設置〕		
	⑦小林金物店前の交差点での渋滞。 イ、信号灯なし。ロ、整理警官不在 ハ、通学児童の横断点	▲	現状はミラーの設置あるのみ。 現地住民のアドバイスをベースとして警察へ安全対策を提出する。	▲	交差点の東側角地の電柱移設、店舗の後方移動を行なうことで横断地帯の条件を整備する。	▲	⑦～⑧は小林駅前の正面道路との三角交差点〔突き当り〕であり、道路整備上、最重要ポイントである。行政の計画的な方針確認と処置を求めたい。
	⑧深田電器店～カサブランカの間の「水路フタ」上は物置きにされていて歩行できない。	▲	「水路フタ」の管理部署があいまいで放置されているようだ。行政サイドで責任ある処理を行ない、歩行万能な状態を作るべきではないか。				

小林駅周辺地域〔商業地区及びその付近〕の安全対策　そのⅡ　　安全防犯小委員会　平成17年6月10日

●住民主体　■住民と行政の協力　▲行政主体〔要望〕

	課　題	主体	短　期	主体	中　期	主体	長　期
一般・生活道路関係	①中野町4丁目の階段道路、電柱あり、自転車・高齢者が通りにくい。	▲	電柱を移設して、全体をスロープ化する。〔密集地での工事となる〕			▲	ミニ開発地間の接続部分に残された障害である。行政の開発指導に工夫の余地があると考える
	②大成郵便局前の渋滞	▲	来客用駐車場があるが、使い方に工夫がほしい。更には近所の空きガレージを来客用ガレージとして確保できないものか。公的に郵便局に要請してもらいたい。			▲	郵政公社の発足で変化を期待したい。
	③イズミヤ小林店・正面〔西側〕の違法駐車〔禁止マークの無視〕の常態化	▲	警察不在の印象を早期に解消する必要がある。取締りの反復徹底に期すべきである。			▲	警察も多忙であることは承知しているが地域住民の信頼を失っては存在理由がなくなる。
	④小林1～3丁目〔旧市街地〕の露地道は緊急車が通れない					●	住宅の建て替え時に、建物を後方に引くことで解決してゆく。
計画道路	①荒地・西山線	■	買収済用地が工事中断によって環境悪化をもたらすことがないように	■	行政との協議で2年後に再開。 〔対案を求めたうえで〕	■	小林自治会中心で住民との調整へ
	②宝塚・中野線 〔小林商店街道路〕	■	整備プランを当委員会と調整中 〔イズミヤ小林店から歩道拡幅の協力を得てイズミヤ西端までを整備する〕	■	次段階では、イズミヤ西端以西、旧太陽スーパー前〔旧県道まで〕に着手、完成を要請する。	■	小林駅前の商業地区でのまちづくりの起爆剤としての効果に期待したい。
	③宝塚・池田線 〔全体計画は変わっていないが永年未着工のまま〕	■	道路予定地〔中野町〕の東端を手直し車輌の通行をスムーズにする。 〔宝塚・中野線の車輌通行量を緩和する効果を期待するもの。〕			■	計画の長期放置を避け、計画の見直しをも含めて具体化を検討する。
その他	①スクールゾーン時刻の変更	■	8:00～9:00を7:30～9:00へ変更 〔H17年予算により実施と連絡あるも、未着手　6／10現在〕				
	②信号機の整備 〔事故多発箇所への対応〕	■	中野町～仁川台ルートの旧県道との交差点。現在の注意灯を正規のものに。同じく仁川台～大成町郵便局間の四つ角				


県立尼崎南高校
小林5丁目公園
小林5丁目
イズミヤ小林店
関西電力尼川変電所
パラホーム保育所
テニスコート
高司1丁目
中野町
市営中野団地
中野第2公園
中野公園
市立第一保育館
市西消防署南部出張所
県道塩瀬門戸荘線
大成第2公園
大成町
大成郵便局
常宣寺
公園
一般1
一般2
一般3
市西3

防犯と防災　そのⅠ

安全防犯小委員会　平成17年6月10日

●住民主体　■住民と行政の協力　▲行政主体〔要望〕

	課題	主体	短期	主体	中期	主体	長期
防犯	防犯パトロール組織の普及と防犯情報ネットワークの活用	● ■	現在、良元小学校区内では7団体がそれぞれパトロールを実施している。但し、相互の間では連絡網などはない。相互の間で情報交換を親密に行なえる機会をセットし活動効果を高めることが望まれる。〔良元コミュニティが機会提供の場を用意するのも一策である。〕 〔尚、防犯パトロール組織を自治会単位で設立するための助成措置が兵庫県にある。〕				
	防犯用具の普及	■ ▲	防犯パトロール隊員の腕章、ステッカー〔自転車用〕の支給、着用の奨励。〔防犯ムードの盛り上げ〕 小・中学生に対する防犯ベルの支給〔登・下校時の着用〕				
	防犯施設の整備	■ ■	夜間照明の充実。〔自治会単位で点検し申請する。〕 アトム連絡所の所在を通学児童に周知させる。〔反面、連絡所の見直しも必要〕	▲	防犯カメラの設置〔公園やガード下〕		
	防犯知識・情報の普及	■ ● ●	自治会中心に講演会、研修会を繰拡げ、隣人との接触を深めながら、関心度を高める。 声かけあいさつ運動の継続〔温もりのある隣人関係づくり〕 ワンワン・パトロールなど日常生活の中に防犯意識を定着させる。				

防犯と防災　そのⅡ

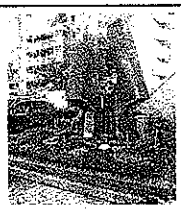
安全防犯小委員会　平成17年6月10日

●住民主体　■住民と行政の協力　▲行政主体〔要望〕

	課題	主体	短期	主体	中期	主体	長期
防災	自主防災組織の機能点検	■	集合訓練への継続的な参加でリーダー研修・養成を。				
	自主防災用具倉庫の定期点検	●	定期点検の励行で用具のメンテナンスを行う。〔消火器の取りかえ、照明用具の電源更新、用具の劣化など〕	▲	防災用具メニューに救出用ハシゴなど見直しが必要。		
	自主防災訓練の内容	■ ■	高齢者急増の現実をふまえ、救出用ハシゴの備付けが必要ではないか。 高齢者には消化訓練よりも、避難訓練が優先されるのでは。	▲	全市的な救急車の充実〔良元小校区ではH17・4月より、南出張所に配属された。〕		
	避難所〔西公民館・くらんど人材文化センター〕施設内の常備品の補充	▲	現在の常備品は各毛布50枚があると云われる。〔消防署では南海地震が近いことを強力に警告している。これでよいか。〕なお、飲料水は良元小グランド地下に十分に確保されている。	▲	防災センター〔末広公園〕での避難所向け常備品の充実策を検討しては。	▲	長期計画を建て、備品の常設方針を具体化してほしい。
	FM宝塚放送の非常時対応機能の充実	▲	停電時の自家発電持続時間をより一層高めておく。 平時から緊急放送の訓練を定期的に行い、日頃から市民の受信習慣を強める。	▲	緊急時の実況放送要員を確保する。〔訓練・研修で放送員のレベル・アップを計れ。		
	防災用公衆電話の確保	▲	地震など災害時に緊急に連絡がとれる公衆電話を早急に設置すべきである。				

●:住民主体　■:住民と行政の協働　▲:行政主体(要望)

基本方針	施策	短期課題 主体	短期課題 具体施策	中期課題 主体	中期課題 具体施策	長期課題 主体	長期課題 具体施策
誰もが参加できるまちづくり		●	3世代が交流できるイベントの開催。 (花ランドまつり、ふれあい運動会、ハイキング、夏まつり、餅つき大会など)		地域の防災力を増す。		
		●	障害者も参加し、意見が言えるコミュニティ。 (レモンツリーの人に小委員会に入ってもらう)	●	自主防災が緊急時にどう活動できるか。		
		●	自分のまちの子どもと関わり、顔見知りになれる活動を増やす。 (良元げんきっ子クラブなど)	●	緊急時のお年寄りや独居老人、障害者の見守りの方法は。 サロンなどを増やし、連絡をとってほしい人を見つける。		
		●	あいさつ運動(顔見知りになる最初の一歩として)。				
		■	学校と一体となって子どもの見守りが必要。				
		■	「アトム110番」の見直し(本当に活用できているのか?)。 子どもの見守り。				
		●	例えば、犬の散歩を学童のかえる時間帯にする。				
		●	防犯パトロールの情報ネットワークをセットする。				
		■	避難訓練を行う。避難場所の備品の充実(避難場所への借賃感)。				
		■	自主防災倉庫の避難用具の拡充(はしごの用意)。				
		●	「良元体操」のような健康体操をつくる(誰でも、いつでも、どこでも)。				
活動拠点づくり		▲	小学校の教室を利用できるように(活動の場を確保)。			▲	世代を超えて交流できるコミュニティの活動拠点を作る。 (良元小改築時に拠点の確保を要望する。)
		▲	空き教室の利用の検討。				
		■	スポーツクラブ21の立ち上げ。				
自分の住んでる町を知ろう	マップの作成	●	公共施設、公園、トイレの場所の表示。	▲	市民トイレを増やす(「よりあいひろば」など)。		
		■	学校、自治会、商店街、医療機関などの紹介。	■	管理者のいる所(例:ガソリンスタンド、商店街など)に トイレ設置→シールを貼る。		
		●	福祉支援活動、子育て支援活動などの紹介。				
		●	守りたいマナーを明記。				
		■	公園でのマナー(犬を公園にいれない)市条例の見直。				
		●	福祉トイレのマップ作り 障害者利用可能トイレの確保。				
		●	マップ作りを行いながら参加者を増やし、人材を育成する。				
人材育成		●	ボランティアの人材育成。				
		●	定年になった人をボランティアへ誘う(チラシの作成)。				
		●	テーマ別に参加者を誘う。				

良元コミュニティ「まちづくりプラン」(景観環境小委員会)

	短期計画	中期計画	長期計画
街区公園	実態調査(2004)	公園整備計画の作成(2005～)	街区公園の新設(2008～)
	公園の整備(2005～2007)		
コミュニティ花壇	駅前花壇の植栽(2004～)	花壇の拡大(新設)(街区公園内)	コミュニティ花壇の整備(2005～)
	花壇のデザイン(2004～)		
	コミュニティ花壇のＰＲ(2005～)		
圃場	実態調査(2004)	生産緑地の調査(2005～)	地産・地消の仕組みづくり(2008～)
			地域ブランドの立ち上げ(2010～)
			ＪＡとの連携(2006～)
自然林・二次林	実態調査(2005)	聖心女子学院との連携(2005～)	里山保全計画の作成と実施(2010～)
		民有地の調査(2008～)	
人材育成	ボランティアの募集(2004～)	ネットワーク(2005～)	組織運営の基準作り(2006～)
	研修会(2004～)	技術の向上(2005～)	市内・県内組織とのネットワーク
	フラワーガーデンとの連携(2004～)	人材育成(2005～)